

第35回東日本本部拡大委員会を開催!



国労東日本本部は、2月10日に東京・新橋で第35回拡大委員会を開催しました。討論では、東日本青年部・三浦常任委員の特別発言を含め12名が発言、2018春闘、組織強化・拡大をはじめとする当面する闘争方針を確立しました。今号は委員会特集号として委員長挨拶、委員からの発言要旨と書記長集約を掲載し、報告とします。



(組合員の購読料は組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5
交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 大沼 元
編集責任者 樋口孝重

No. 802 定価 20円

2018年
2月28日

仲間の信頼
力に変えて
さあ踏み出そう
組織の拡大へ

QRコードから
でも閲覧できます
<http://www.e-nru.com/>



粉川委員 (東京・神奈川)
JESSでの2名連続拡大の教訓と、格差解消に向けた闘いの構築が重要。「新人事・賃金制度」での問題点の改善を取り組むべき。
・アスベスト竹井労災認定裁判の敗訴を受け、控訴審に向けた団体署名を取り組む。東日本本部の主體的な姿勢での運動を要請する。

委員からの発言



議長 盛岡地本 田崎委員
副議長 新潟地本 清野委員

岩田委員 (東京・神奈川)
昨年JESSで続けて発生した第3者加害問題について、働く者を守る体制作

北嶋委員 (千葉)
駅の合理化が止まらない。JESSとの交渉強化とJR東日本へ施策変更を強く求める。JESSの「新人事・賃金制度」への改善要求を通じて組織拡大に繋げるべき。
・地本では21日にダイ改反対外房集会を開催。東日本本部も指導性の発揮を。
・18春闘は労働者の力で勝ち取る春闘に。
高橋委員 (仙台)
・新幹線の交番検査周期延伸が支社提案から準備期間が全くない中で実施された。安易な外注化反対の取り組みを強化していく。
・18春闘では「現場からのあたりまえの労働運動」を全体に広げ、大衆行動にも大きな流れを作っていく。
・支部で組織対策委員会を開催し、呼び掛けティッシュを配布していく。

岸本委員 (東京・新橋)
・超勤時間や休日出勤を調査して必要要員の議論を行い、調査・点検と要求作りで団体交渉の強化を。
・JESSの「新人事・賃金制度」の提案に対し、直接交渉で改善を求めるのと併せて労働者代表を活用した運動の提起を求める。
・貨物の仲間の生活実態や関連会社の安全問題等、国労として統一して闘うことが求められている。
泉委員 (水戸)
・昨年問題となった特急一人乗務は、今回のダイ改で基本二人乗務となり改善されたが、乗務員の拘束時間は長くならざるを得ない。駅や設備なども人が足りない状態。「職場に人が欲しい」となっている。

東日本本部として、事故対策を含め、要員体制や技術力継承問題など、背後要因を明らかにしなければならぬ。
JR東日本は54歳以上の社員が1万8千人おり、今後退職者によって要員は減り続け、現場の安全やサービスは揺らぐことは明らかである。
東日本本部は、日々、要員が減少する職場における要員要求を行い、「仕事総点検運動」を進め、要求集約と現場の改善の取り組み、本社との

りの申し入れを求める。
・JESS幹部が会社主導の組合への加入に動いていると聞く。そのような動きがあった際には第三者機関の活用も視野に入れて取り組むべき。

18年春闘の闘いについて。国労は第188回拡大中央委員会で運動方針を決定。定期昇給の完全実施と12,000円(4%相当)のベア等、8項目を統一要求とした。18春闘の闘いは、最低賃金の引き上げや社会保障制度の拡充をはじめ、安倍政権の悪政に抗し、国民的諸課題と一体で労働者全体が団結して勝ち取りに行くことにある。
東日本本部として、要求獲得に向けた会社交渉の後押しとして、現場からの大衆的な運動を強化していく。
安全・安定輸送の確立と労働条件改善の闘いについて。JR東日本の順調な経営状況の一方、JR各社の重大インシデントや大規模輸送障害が問題となっている。

東日本本部は、「安倍9条改憲NO憲法を生かす3,000万全国統一署名」運動を成功させ、呼びかけ団体や政党との協力・連携を強化し、改憲阻止、反基地、脱原発、労働法制改悪反対などの運動を引き続き強めていく。

結ぶに、9地方本部の総団結を基盤に各委員の真摯な討論により、当面する闘争方針が確立できるよう心から要請し、東日本本部執行委員会を代表しての挨拶とする。

交渉の強化を図っていく。組織強化・拡大の取り組みについて。今年度は現在まで4名が加入。いずれも職場問題の共有化・改善の先に組織拡大を勝ち取った報告がされた。これらの教訓を全体で再確認しなければならない。
東日本本部の今年度の組織拡大に向けた強化策は、宣伝ティッシュを組合員一人2個配ろうという取り組みである。組合員一人ひとりが加入の呼びかけを広げていこう。平和と民主主義を守る取り組みについて。昨年10月の衆議院の解散・総選挙では、自公与党が3分の2を確保する厳しい情勢となった。自民党は、憲法改正原案の取りまとめを急ぎ、今通常国会会期中に発議しようとしている。

東日本本部は、「安倍9条改憲NO憲法を生かす3,000万全国統一署名」運動を成功させ、呼びかけ団体や政党との協力・連携を強化し、改憲阻止、反基地、脱原発、労働法制改悪反対などの運動を引き続き強めていく。

結ぶに、9地方本部の総団結を基盤に各委員の真摯な討論により、当面する闘争方針が確立できるよう心から要請し、東日本本部執行委員会を代表しての挨拶とする。

委員長挨拶 要旨
(全文はHPに掲載)
一人ひとりが加入の呼びかけを広げていこう!



委員長挨拶 要旨
(全文はHPに掲載)
一人ひとりが加入の呼びかけを広げていこう!



・郡山駅に平成27年4月に入社して、平成28年3月に

特別発言（青年部・三浦常任委員）

●アスベスト問題の竹井裁判に関しては、神奈川県本部だけでの対応は大変なので、対応が本部か東日本本部かについては相談させて頂いて、今後出来ることは協力していきたい。

【伊藤書記長・中間答弁】

●JESSの新人賃金制度で人事考課が反映される問題については、交渉の中で恣意的ではなく公正・公平、透明な運用を求めている。また、1月22日にJESSプロパー社員中心に勉強会を行ってきた。引き続き、目に見える行動についても検討したい。

●JESSの労働組合の加入に会社幹部が絡んでいる問題について、事実であれば大変問題。事実経過を含めて情報提供を頂ければ、それに沿って会社には毅然として求めていきたい。

宮本委員（長野）

・三島、貨物における賃金削減、人件費削減の攻撃が続いている。構造的矛盾解消を求める政策要求を真剣に検討してほしい。

宇佐美委員（秋田）

・車両センターでの業務委託開始当初に懸念された偽装請負が今に至っても見受けられる。グループ会社と交渉し、改善要求を実現するためにもプロパー社員の組織化は絶対条件。

菊池委員（盛岡）

・春闘について、会社間の違いを考慮せず、一律の金額を要求することが全国統一闘争と言えるのか疑問。

国労に加入。職場の中心に国労組合員がいて色々教わった。東労組で常任委員をしていたが、政治活動が多く息苦しく感じていた。

の地道な運動の積み重ねしかない。

武田委員（仙台）

・組織強化拡大について、国労にしか出来ない運動が今職場で求められている。

・賃金格差、不合理な差別の是正を求めて係争中の長沢運輸事件の公正な判決を速やかに出させる運動を。

・バス労働者は全国的に要員不足。改善には職場から



【組織強化拡大の闘いについて】

この間の拡大の取り組みから言えることは、「仕事」「職場」にこだわった取り組み、他労組、隣の仲間と「壁」を作らず、今の実態に向き合い、職場の内外で接することである。

グループ会社社員の組織対策は重要。

5年後、10年後を展望した時、その会社のプロパー社員が自立し労働組合を担うことは当然と考える。国労運動、労働運動の継承・発展の観点から、今後議論をしていく。

【合理化反対、安全・安定輸送の確立、労働条件改善について】

系統を問わず厳しい実態となっている。引き続き会社に対して、労働条件改善と職場環境、福利厚生面の改善を通して、安心して働き続けることのできる職場こそが「安

書記長集約

私たちの取り組みは「微力ではあるが無力ではない!!」すべての闘いを組織拡大へ!!

全・安定」輸送を支えるという立場で、仕事・安全総点検運動を強め、議論と提言、団体交渉の強化を図っていく。

また、職協代表者・各地方業長会議などを都度召集し、支社・本社への対応を図っていくこととする。

【2018春闘勝利に向けた闘いについて】

本部決定に基づき、2月13日に申し入れ、18春闘がスタートする！職場で創意工夫した取り組みを行い、本部・本社間の交渉を支えて欲しい。戦術については、団体交渉の状況や推移を見ながら、中央戦術委員会に報告をし、議論を踏まえ、中央執行委員会へ判断を求めることになる。

また、闘いの進め方を含め必要により機関会議を開催し、意思統一を図ることとする。

【労働協約改訂、一括和解

大な危機を迎えている。引き続き、平和フォーラムや「戦争をさせない1000人委員会」「9条の会」などが取り組む各地での護憲・平和運動に積極的に参加していく。

とりわけ、現在取り組んでいる「安倍9条改憲NO!全国アクション」が提起している3000万

全国統一署名の成功を目指したい。

すべての闘いを組織拡大へと結びつけるため、全地方本部と力を合わせ

闘い抜くことを申し上げ、第35回拡大委員会の書記長集約とする。

【政治闘争の強化について】

私たちを取り巻く政治情勢は一層厳しさを増している。戦後72年、国民民主権と基本的人権の尊重を基調とする平和憲法が重

Advertisement for Aflac (アフラック) insurance, featuring a duck mascot and text about cancer insurance and life insurance.